

松本 和子 Kazuko Matumoto



【略歴】

1959 福井県福井市生まれ  
1982 福井大学教育学部卒業、中学校美術教員に採用  
2006 福井大学大学院教育学研究科修了  
現在 福井市清水中学校に勤務



【出品歴】

〈グループ展〉

(2003) 壘24展 (福井県立美術館)  
(2004) 5人展 (福井市美術館)  
(2005～) 新彫会展 (福井県立美術館、鯖江まなべの館)  
(2007～) BJ美術準備室展 (福井市美術館)  
(2011) セッション展 (E&Cギャラリー)  
(2012) BJ7 サテライトin 大阪 (ギャラリーCASO/大阪)

〈公募展〉

(2003～) 福井県美展出品知事賞受賞を経て、現在は審査員  
(2006～) 福井市美展出品市長賞受賞を経て、現在は審査員

【制作・作品について】

大学の彫刻の授業で、モデルを見て粘土でその形をつくり、それを石膏に置き換えるという制作を教わりました。それが私の彫刻制作の出発点でした。大学院生の時、石膏にした作品を紙ヤスリで磨くという制作方法を始めました。彫刻の世界では、「邪道」と思われる制作方法だったかもしれませんが、やってみたらハマってしまいました。それ以来、人体や頭像、マスクなどを石青や加工粘土などでつくって、磨いて作品にしています。

私がつくりたいと思うのは、人物です。特に、「カオ」に魅力を感じ、表面の形状よりその内面を表現したいと思ってきました。たまに、無性につくってみたくなる「カオ」に出会うことがあります。その時の、ドキドキした感覚は不思議なもので、気持ちが一気に高まります。思うようにできなくて、自分が情けなくなり、嫌になることも多々ありますが、それでもつくっている時のワクワクした気持ちはたまらなく好きです。

私がつくった様々な「カオ」から、目に見えない何かを感じてもらえたらうれしいです。